

5/14
[水]

射水市男女共同参画推進委員会 総会・研修会

DVについて知り、その対応を考える ～アンコンシャス・バイアスに気づく～

令和7年5月14日（水）、射水市役所にて令和7年度『射水市男女共同参画推進委員会総会・研修会』を開催しました。今回の研修会では『DVについて知り、その対応を考える ～アンコンシャス・バイアスに気づく～』と題して、一般社団法人ウイメンズカウンセリング富山の栗林志亜里さんを講師にお迎えし、ご講演をいただきました。

アンコンシャス・バイアスとは、無意識のうちに生じる偏見や思い込みのことをいいます。講演では、バイアスを持つ本人が、それが偏りであると気づかないまま生活をしていることが多いと話されました。アンコンシャス・バイアスは誰もが持っているものであり、それ事体に良い悪いがあるわけではありません。しかし、「普通はこうだ」「こうあるべきだ」といった思い込みを他者に押しつけると、相手を傷つけるだけでなく、差別や暴力の問題を助長してしまう可能性があります。大切なのは、無意識のうちに抱く自分の思い込みに気づくことだと感じました。

また、講演ではDV(ドメスティック・バイオレンス)についても学びました。DVとは、パートナーから暴力や支配を受けて、対等な関係を築けていない状態のことをいい、DVがなくなる背景には、社会的・文化的に形成された「男らしさ」「女らしさ」といった意識が影響しているとご説明をいただきました。

誰もが暮らしやすい社会の実現に向けて、性別にとらわれず、一人ひとりの個性と多様な生き方を尊重できる社会を目指し、今後も男女共同参画活動を推進していきたいと思っております。(Y・K)



活動日誌

越中だいもん凧まつり ● 5月18日◎

令和7年5月18日（日）、大門カイトパークで開催された『第43回越中だいもん凧まつり』の会場で、啓発活動を行いました。

凧揚げ日和の晴天のもと、当委員会では啓発活動の一環として、啓発品の配布を行い、男女共同参画社会の実現を訴えました。

会場には、雄大な大凧、こいのぼりのような連凧、色彩豊かな絵凧が大空に舞っています。凧まつりは老若男女問わず皆が一緒に行う共同作業です。家庭、職場、地域社会でもこのような共同参画の輪を広げていきたいと思えます。
(N・T)



子育てフェスティバル in いみず ● 7月27日◎



令和7年7月27日（日）、救急薬品市民交流プラザにて、『子育てフェスティバル in いみず』が開催されました。当推進委員会では運営・ワークショップの出展にかかりました。

いつも元気いっぱい幼稚園児のかわいい歌声でオープニングがはじまり、『こめり〜ず』さんによる懐かしのポップスやクラシック、童謡を楽しみました。

ワークショップでは『カモメ風車を作ろう』のコーナーを設けて、色画用紙と割り箸とストローを貼り合わせて風車を作る工作教室を実施しました。細かい作業に親子で苦戦しましたが、

こどもたちは出来上がった風車を駆けまわりながら回して楽しんでいました。これからも当推進委員会は、子育てを応援していきたいと思えます。
(S・S)

《大門地区》夏のものづくり教室 ● 8月9日◎

令和7年8月9日（土）、大門コミュニティセンターにて『夏のものづくり教室』を開催しました。

こどもから高齢者まで幅広い世代が集まり、風鈴やロケット、ロケット発射台を作成しました。風鈴作りでは、参加者一人ひとりが自身の好きな色や模様の紙を選び、自分だけのオリジナル風鈴を完成させました。ロケット作りでは、家庭にあるラップの芯を用いて、簡単ながらも本格的なロケットを制作しました。ロケットが勢いよく飛び出した時は、大いに盛り上がりました。



みんなで作る楽しさ・喜びを体験できた場となり、素敵な夏の思い出となりました。
(M・Y)

《小杉地区》お米マイスター講座 ●

11月8日

令和7年11月8日（土）、黒河コミュニティセンターにて『お米マイスター講座』を開催しました。米価格の高騰、備蓄米放出など、各地で米不足が発生する令和の米騒動のなか、お米について学びたいと考え、大門食糧有限会社代表取締役の米澤治夫さんを講師にお招きしました。米澤さんは県内でも珍しい五ツ星お米マイスターであり、コシヒカリ等の米のルーツを教えてくださいました。また講座の後半では、地域の食生活改善推進員の皆さんの協力を得て、ご飯に具材を混ぜラップで握るだけの簡単なおにぎりを作りました。改めて日本の恵み美味しいお米を味わいました。（F・C）



《大島地区》楽屋姫コンサート ●

11月22日



令和7年11月22日（土）、大島コミュニティセンターにて3人組フォークグループ『楽屋姫』による結成30周年記念コンサート『会いたくて』を開催しました。『楽屋姫』は、1970年代に活躍したフォークグループ『かぐや姫』の名曲を演奏しているバンドです。大島地区内外から、たくさんのファンが集まり、青春時代の音楽に酔いしれるひとときを過ごしました。メンバーの岩谷さんから「男女が社会の対等な構成員として、一人ひとりが心豊かな日々を過ごしましょう」とのお言葉をいただき、男女共同参画への理解を深めました。（T・Y）

《新湊地区》魚のさばき方教室 ●

11月30日

令和7年11月30日（日）、新湊コミュニティセンターにて『魚のさばき方教室』を開催しました。固定的な性別役割分担意識を見直す啓発事業として、女性学級と合同で開催しました。講師の瀬山和子さんの指導のもと、ふくらぎやアオリイカなどを実際にさばき、握り寿司づくりに取り組みました。参加者からは、家でも挑戦してみたいなどの声が聞かれ、性別にかかわらず仲良く調理を楽しみながら、男女共同参画への理解を深めました。（I・T）

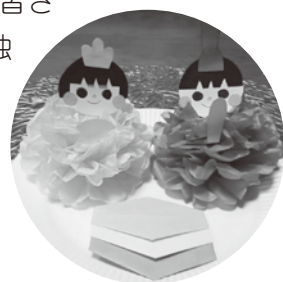


令和8年2月21日（土）、救急薬品市民交流プラザにて『あったか家族のひなまつり』を開催しました。こどもの健やかな成長と家族で仲良く子育てを楽しんでもらうことを目的に、絵本の読み聞かせや体操、工作を実施しました。

最初に、推進員によるおひなさまにまつわる絵本の読み聞かせを行いました。その後、産後指導士の太田芽久美さんによる家族でリズム体操を行いました。音楽に合わせて大きく腕を振ったり、様々な動物になりきって飛んだり跳



ねたりして、心地よい汗をかきました。最後に、家族で協力して、お花紙と折り紙と紙皿を使って、おひなさまを作りました。個性豊かな世界に一つだけのおひなさまとなり、皆さん大満足でした。帰りに、折り紙の手裏剣や独楽をお土産に渡したところ、こどもたちから「ありがとう、楽しかった」といった感想や沢山の笑顔を貰い、私たちにとっても有意義な時間を過ごすことができました。（Y・Y）



啓発活動



6月 男女共同参画週間



10~11月 各地区文化祭



11月 女性に対する暴力をなくす運動



10月 富山福祉短期大学「ふくたん祭」



3月 オレンジキャンペーン



編集後記

射水市制20周年、そして射水市男女共同参画推進委員会20周年という節目の年を迎えました。男女共同参画をめぐる状況を振り返ると、「仕事と生活の調和」や「仕事とプライベートの両立」を意味する『ワークライフバランス』という言葉が広く社会に浸透しているように思います。また、現在では仕事と私生活がよい影響を与え合い相乗効果を生み出す、より前向きな『ワークライフシナジー』という言葉も使われるようになりました。性別にとらわれず自分らしく生きられる社会を目指して、各地域での啓発活動に一層力を入れ、男女共同参画への理解につなげていきたいと思ひます。（S・S）